学校番号	3010

令和5年度 工業（プロダクトデザイン） 科

教科	工業	科目	プロダクトデザイン実習	単位数	3 単位	年次	1 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３班編成のローテンションで授業を行います。金属や樹脂、木材といった各種素材の研究と造形活動に関する基礎的な知識について実習を通じて学びます。素材の特性を理解し、形態に工夫を凝らした作品制作の基礎力と応用力、素材に適した道具の扱い方や安全な加工方法を学びます。授業では、アイデア、制作力、作品の完成度、授業に臨む態度を評価の観点とします。
履修条件
なし

2　学習の到達目標

・プロダクトデザイン分野に関する技術を実際の作業を即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする ・プロダクトデザインの技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う ・プロダクトデザイン分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プロダクトデザイン分野における道具の使い方や名称、素材の加工方法など基礎的、基本的な知識、技能を身に付けて今後の制作活動に役立てる。	プロダクトデザイン分野の技術に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	プロダクトデザイン（工業分野）の各分野に関する技術の向上をめざして自ら学び、その発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	カトラリーの制作	木材を使って使いやすいカトラリーを制作する ・アイデアスケッチ ・木材の切削 ・やすり掛け ・塗装	a:それぞれの素材に関して制作過程を理解し作業を行うことができるか。安全で丁寧な作業を行うことができるか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 c:主体的かつ協働的に取り組むことができているか。	学習状況の観察 作品レポート	学習状況の観察 アイデアスケッチの提出 作品レポート	学習状況の観察 課題の提出状況 作品レポート
2学期	時計の制作	金属を使って時計を制作する ・アイデアスケッチ ・地金取り ・鍛金による本体の制作 ・ムーブメントの固定 ・文字盤の制作 ・塗装・組立	a:それぞれの素材に関して制作過程を理解し作業を行うことができるか。安全で丁寧な作業を行うことができるか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 c:主体的かつ協働的に取り組むことができているか。	学習状況の観察 作品レポート	学習状況の観察 アイデアスケッチの提出 作品レポート	学習状況の観察 課題の提出状況 作品レポート
3学期	オブジェの制作	樹脂を使って美しい形態のオブジェを制作する ・アイデアスケッチ ・粘土で原型制作 ・石膏型の制作 ・樹脂の流し込み ・樹脂の割り出し ・樹脂の研磨	a:それぞれの素材に関して制作過程を理解し作業を行うことができるか。安全で丁寧な作業を行うことができるか。 b:作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイデアや制作を行うことができるか。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができているか。 c:主体的かつ協働的に取り組むことができているか。	学習状況の観察 作品レポート	学習状況の観察 アイデアスケッチの提出 作品レポート	学習状況の観察 課題の提出状況 作品レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度